



炭素繊維応用技術研究会

主催：（公財）科学技術交流財団 共催：あいち産業科学技術総合センター
協力：愛知工研協会

炭素繊維複合材料(CFRP)は、軽量・高強度といった炭素繊維が持つ基本物性の高さから注目され、各種産業分野での需要が増加しています。現況は、航空機や風力発電、圧力容器などの用途に加え、自動車用途における採用が拡大しており、CFRPの市場は本格的な拡大期に入ったと言えます。

さて、本研究会は今年で10年目を迎えますが、依然として継続開催の要望が強く、今年度も3回にわたり開催する運びとなりました。なお、今回は講演終了後に名刺交換会を実施し、講師の方々とは直接お話する機会を設けました。ぜひご参加ください。

《第1回》

日時：平成29年9月1日（金）

13:30～16:30

場所：ウインクあいち 1002会議室

（愛知県産業労働センター）

名古屋市中村区名駅4-4-38



（JR・地下鉄・名鉄・近鉄）名古屋駅より

◎JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由 徒歩8分

※応募多数の場合は、締切日前に受付を終了させていただきます。

《プログラム》

13:30～13:35 主催者挨拶

13:35～14:35 「炭素繊維・複合材料の用途拡大への展望」

講師 三菱ケミカル株式会社 豊橋研究所

高機能成形材料研究室 主幹研究員 杉浦直樹 氏

炭素繊維発明後半世紀が経ち、スポーツや航空用途で不可欠な材料となった。近年低価格化が進み、車両、産業機械、大型構造体の構造材への適用が広まり、使用量が増大しつつある。今後社会や環境のサステナビリティが重要な社会規範となり、秀でた機械的特性を有する炭素繊維複合材料は、人類の社会システムを支える材料となるものと期待される。ここでは用途拡大の展望を材料と成型技術の開発の観点で紹介する。

14:35～14:45 休憩

14:45～16:05 「熱可塑性CFRPは本当に普及するのか？ ～欧州の最新技術から～」

講師 近畿大学 理工学部 機械工学科 教授 西藪和明 氏

軽くて強いCFRPは注目されているが、本当にCFRPは普及するのか？その用途拡大の課題は何か？我が国の強みと弱みは？熱可塑性CFRPは使えるか？金属とのマルチマテリアル化に必要な接合法やCFRPの産業機器への応用例、熱可塑性CFRPの多様な製造技術について欧州の最新技術を紹介する。

16:05～16:30 名刺交換会

